✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

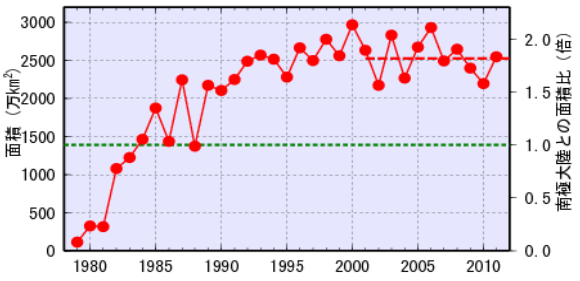
✧　気象庁の主な報道発表（気象庁ホームページより）等　（10/26～11/25）

◇10 月 26 日　「津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する検討会」第 1 回会合が開かれました。会合では、津波の高さと被害との関係、津波警報の発表基準及びや情報の表現（案）について事務局が説明し、出席者の意見を伺いました。（記事別掲）

◇10 月 31 日　本年 7 月 13 日から提供してきた平成 23 年度の高温注意情報の提供を終了しました。

◇11 月　1 日　10 月の天候のまとめ(最終ページをご覧下さい)。

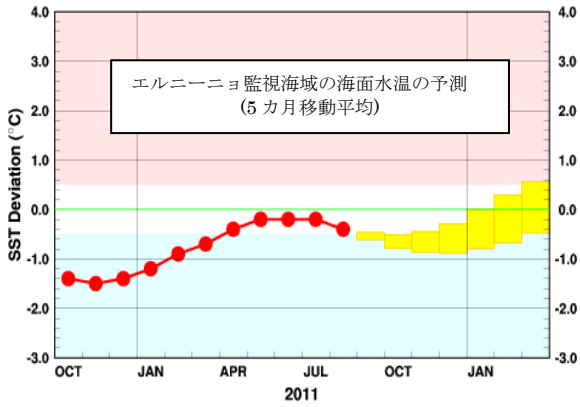
◇11 月　1 日　今年の南極のオゾンホールについて、過去 10 年間の平均とほぼ同じ大きさまで発達し、長期的にみると依然として規模の大きい状態が継続していると気象庁から発表されました。



オゾンホールの年最大面積の経年変化

◇11 月 10 日　エルニーニョ監視速報では、ラニーニャ現象が発生しているとみられ、冬から春までの間に終息する可能性が高いと発表されました。

◇11 月 11 日　東北地方太平洋沖地震等に伴い、震度 5 強以上を観測した市町村では地震による地盤の状態の変化を考慮して、気象警報・注意報及び土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げていましたが、地震後の降雨と土砂災害の関係を調査し検討しました。その結果、東京都、神奈川県、群馬県、静岡県、長野県、新潟県について 11 月 11 日から暫定基準を見直すこととしました。



◇11 月 14 日　長周期地震動に関する情報のあり方について検討する第 1 回会合が気象庁講堂で開かれました。事務局から東北地方太平洋沖地震のおける長周期地震動による揺れの実態調査結果および長周期地震動に関する情報の作成・提供の目的（案）について説明しました。（記事別掲）

◇11 月 14 日　気象予報士試験第 37 回の受験申請の受付が開始されました。受験申請の受付期間は 12 月 2 日(金)までです。試験は来年 1 月 29 日(日)に実施する予定です。

◇11 月 18 日　気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第 34 回総会（平成 23 年 11 月 18 日～19 日、於ウガンダ共和国・カンパラ）において、「気候変動への適応推進に向けた極端現象及び災害のリスク管理に関する特別報告書」の政策決定者向け要約が承認されるとともに、報告書本編が受諾されました。

◇11 月 20 日　10 時 23 分頃茨城県北部の深さ 9km で M5.3 の地震が発生し、茨城県日立市で震度 5 強を観測しました。この地震は 3 月に発生した「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」の余震と考えられます。

◇11 月 21 日　WMO 温室効果ガス世界資料センターから WMO 温室効果ガス観測年報第 7 号が刊行されました。大気中の温室効果ガス観測データについて、気象庁が世界の専門家と協力して解析した結果、2010 年の二酸化炭素、メタンおよび一酸化二窒素の世界平均濃度は過去最高であることが判りました。

◇11 月 21 日　19 時 16 分頃広島県北部の深さ 12km で M5.4 の地震が発生し、広島県三次市で震度 5 弱を観測しました。（記事別掲）

◇11 月 24 日　19 時 25 分頃北海道浦河沖の深さ約 30km(速報値)で M6.1(速報値)の地震が発生し、北海道浦河町で震度 5 弱を観測しました。